

2020年1月 クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号対応



ダイヤモンド・プリンセス



乗船シーン



船内薬剤部門



船内医療対策本部

【活動概要】

2019年12月に中国武漢で初めて報告された新型コロナウイルス感染症。2020年1月に横浜を出港して香港などを周遊していたクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号内にて新型コロナウイルスの集団感染が発生した。当時の総理大臣であった安倍首相の指示によりDMATが中心となってクルーズ船対応へ当たることとなった。当院からは薬剤師の齊藤と豊山が2月10日～2月16日まで船内に設置された本部や薬剤部門へ派遣された。

船内では、情報集約・発熱者対応・検体採取・陽性患者の搬送・乗客の健康管理などを行った。また、医師や薬剤師が中心となって2000名以上の乗客の定期内服薬対応も行った。

未知なる感染症対応に不安はあったが、ここでの活動経験がその後の国内の感染症対策に活かされることになり、日本の医療に対して一助を担えたと感じた活動であった。（齊藤）